

## 児童の安全対策について

台風（風・水害）、集中豪雨、大地震、竜巻、雷などの非常災害への対処、登下校時等の防犯対策などに取り組むために、学校としては、児童の安全に向けて、下記のことを周知徹底したいと考えております。何卒ご理解をいただき、ご協力をよろしく申し上げます。

### 1. 学校の安全対策

日常の学級指導や避難訓練、災害、不慮の事故などへの対応マニュアルによる職員の活動を通して、緊急の場合に対応できる体制を作ります。また、公的諸機関との情報交換や連携、保護者、地域の方の協力による日常的なパトロール等によって安全な町の環境作りにも努力します。

### 2. 通学路について

指定された通学路は日本スポーツ振興センターの保険の対象ともなっておりますので、**登下校時には必ず通行するようご指導をお願いいたします。**しかしながら、通学路にも危険な箇所が見られる場合もありますので、以下の点に留意して、日常的な確認と点検をお願いします。

※車両の通行の煩雑な場所、非常災害時に危険が増大するような場所（崖・水路）を確認し、安全な通行についてのご指導をお願いします。

※人気が無くなるような場所、死角（周りから見えない）になりそうな場所を確認し、速やかに通行するように指導すると共に、できるだけ一人で通行しないことや、緊急の場合の対処法（行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・周囲に知らせる）などを見童に周知させてください。

※自宅から通学路までの道は、保護者の皆様の責任で安全なコースを選んであげてください。

※児童の放課後の行動を把握するよう努力されると共に（いつ・どこへ・だれと・何時まで）、暗くなる前に帰宅するなど安全な行動がとれるようご指導ください。

※犯罪につながりそうな事案に遭遇した場合（不審者等）には、できるだけ早く警察に連絡してください。学校への連絡よりも優先させてください。

### 3. 登校の判断について

**横須賀市を含む地域に「暴雨警報」が、午前6時の時点で発令継続中の場合は、児童・生徒の安全確保のため、当日を臨時休業とします。（横須賀市一斉）H22.4.1**

台風の接近や大雨「大雨警報」「洪水警報」などや、強風、大雪で通学途中の危険が予測される時、またはその他の非常事故に遭遇した場合には、保護者の判断で学校を休ませることができません。状況をよく判断し、危険を避けるよう行動してください。この場合は出席停止扱いになります。登校時間が遅れる場合は遅刻とはなりません、異なる時間での登校となりますので、安全についてのご配慮をお願いします。上記のような場合での休みあるいは登校時間の遅れは、**必ず学校への連絡をお願いします。（所在不明の危険が生じるため）**

### 4. 臨時休校の措置について

3で記載されたような状況のとき、学校が臨時休校の措置をとる場合もございます。その場合には、必ず学校から、携帯電話お知らせメール「まち comi メール」、「テレフォン伝言板」等を通じてお知らせが出ますので、確認をしてください。学校への電話での問い合わせは、ご家庭が多数の

ため対応しきれませんのでご遠慮ください。

#### 5・登校後に非常災害が発生した場合について

災害の状況により、以下のような措置を選択します。

- (1) **一斉下校**…もうじき大雨や台風がくると警報が発令されたときや非常災害が予想され、下校した方がより安全であると判断された場合、通常の下校時間を早め、児童を一斉下校させます。(通常の通学路を使って)職員は児童とともに行動し、指導にあたります。
- (2) **学校待機**…学校に待機させておき、安全が確認されたら下校させます。
- (3) **引き取り**…学校待機中に保護者や家族の方が迎えにこられた場合は、確認して引き渡します。(混乱を避けるため、車での来校はご遠慮ください。)

#### ※家庭が留守になる児童の対応について

- ・緊急時に保護者の方と連絡が取れるよう、勤務先などの電話番号を学級担任やお子さんに知らせておいてください。(変更があった場合も速やかに担任までお知らせください。)
- ・自宅で保護者の帰宅を待つ場合も、不審者・不審電話などにも注意するよう、日ごろから指導しておいてください。(誘い出しなどには、不審電話をいったん切り、確認するなど慎重な行動を具体的に知らせてあげてください。)

#### 6. 登下校中に非常災害が発生した場合について

登下校時は、教職員が指示することができない状況下にあります。子どもが自分の判断で自主的に行動しなければなりません。したがって、日ごろから非常災害発生の場合にはどのように行動するのか、家庭で話し合っておいてください。

- ・安全な場所や公園に避難する。(歩行中の一番近くにある広場や公園。しかし崖崩れの心配のある広場や公園は避ける。)
- ・家の近くでは自宅へ、学校の近くでは学校へ戻る。
- ・危険なところ(ブロック塀・排水溝など)から離れる。
- ・ガソリンスタンドやガスボンベなどの危険物のあるところから離れる。
- ・倒壊物や落下物には、十分注意する。(安全なところまでは、カバンなどで頭部を保護する。)

#### 7. その他

- ・できるだけ一人で行動しない。
- ・いざという場合の家族集合場所や連絡方法を話し合い決めておく。

上記のような危険に対応する手立てを、日ごろからご家族で話題にしていただければと思います。

※今年度も個人情報や児童の安全を考え、学級連絡網は作成しませんので、配布はありません。

したがって、緊急連絡が必要な事態が生じた場合には、各学級担任から各家庭に連絡が入ります。

(先に保護者の方が緊急事態と判断され、お子さんを引き取りに来校されることもあります。)

※緊急時の一斉連絡は、携帯電話お知らせメール「まち comi メール」、「テレフォン伝言板」でお知らせします。(その他の学校情報もお知らせします。)

- ・携帯電話お知らせメール「まち comi メール」、「テレフォン伝言板」の使用方法は後のページをご覧ください。